

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	商工業振興に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	2	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	332魅力ある商業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	補助団体の実情を見極め、調整を図りながら、補助金の交付を行い、商店街等の活性化につなげる。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	街路灯の維持管理に係る費用負担を軽減するため、商工業振興補助金交付基準の見直しを行う。
②①に基づく取り組み結果	補助金の申請を行う際に、各商店街の個々のイベント事業に対する事業効果等を明確にし、検証をしたうえで補助金の交付を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	商工会、商店会連合会、ドリームカード会、市内13商店会	意図(対象をどうするのか)	補助金を通じ、商店街等の振興を図る。
②事務事業の概要	商工業の発展と振興を図るため、商工業団体等が実施した事業に助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和63年当時に全庁的に実施された各補助金の見直しに併せ、商工会等の活性化及び育成のために創設された。ここ数年では大型店や全国展開するチェーン店の進出により、既存の商店会は厳しい立場に置かれているため、商店会の活性化及び育成は不可欠である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	商工会及び商店街の活性化・育成を図るために補助金の支出を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	補助金交付額	32,045	20,057	19,603	千円	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	20,492	24,801	金額(千円)	内容	24,715		
国支出金(千円)			19,603	商工業振興補助			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	20,492	24,801			24,715		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	電気代の上昇などにより、各商店会で保有する共同施設(街路灯)の維持管理が困難となってきている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	補助金交付基準の精査・検証を行い、商工会や商店会の育成及び活性化を図っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	観光ビジョン推進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	4	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	332魅力ある商業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業のため、前回評価無し	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	・新たな観光振興策への着手 ・タウンミーティング等のリーディングプロジェクトを通じた市民の観光意識の醸成
②①に基づく取り組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民及び市内事業者	意図(対象をどうするのか)	事業を通して市民においては郷土愛を育て、市外住民へのおもてなしの心を醸成する。 市外住民に対しては、鎌ヶ谷に来訪することの楽しさ等市への好感を持たせる。
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市観光ビジョンに沿った観光振興策により、まちの活性化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民や事業者を巻き込んだ事業が増加していく中で、今後市民が自立的に活動を広めていくことが理想的である。こういった市民の活動に対する補助施策の検討なども必要と考えられる			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	新規に観光情報に特化したHPを作成し公開した。 鎌ヶ谷市の特色を活かした、観光マップを10,000部作成した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	パンフレット作成部数			1	万部	業務取得
	ii	ホームページへのアクセス件数			-	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	2,619	金額(千円)	内容	1,835		
国支出金(千円)			1,706	観光ホームページ作成委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,619			1,835		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民と協働による観光振興策の推進が重要となるが、そういった体制整備や市民や事業者等の横のつながりが希薄である。				
②評価	i 市関与の妥当性		iii 公平性		v 総合評価
	ii 有効性		iv 効率性		
③上記評価の理由	各施策を実施するにあたり、より具体的な実施計画を策定する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	観光振興事業	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	観光ホームページの新規開設	3,000	2,693	当初	3,000	2,619	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-307		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)			